

脱炭素へ再エネや 農林漁業事例発表

いわきでエナジア

再生可能エネルギー関連のエナジア(郡山市)は28日、いわき市で脱炭素をテーマとしたトークイベント



再生可能エネルギー活用
について話す白石社長

を開き、関係者が再エネや農林漁業分野での事例を発表した。

県内の企業や研究機関などから約50人が出席した。エナジアの白石昇央社長が地中熱や温泉など身近な再エネを活用する必要性を訴えた。

産業技術総合研究所(産総研)福島再生可能エネルギー研究所の内田洋平氏が、広野町が取り組むバナナ栽培の地中熱システム実証成果を報告。福島高専副校長の芥川一則氏は立体地図と測位衛星「みちびき」を利用した自動運転システムの農業への活用を解説し

た

また吉成農園(天栄村)の吉成邦市氏が環境負荷の少ない農業や耕作放棄地再生の取り組み、いわき市職員が脱炭素社会実現と産業振興の施策を紹介した。